

スマクラ版バージョン2
記録システム操作マニュアル

セパレートオプション

はじめに

本書は「セパレートオプション」の操作説明書です。

本書の著作権・その他知的財産権は、株式会社富士データシステムが所有しております。

当社の許可なく複製・複写・改変・配布を行うことはできません。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更する可能性があります。また本書により生じたいかなる損害についても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了解のうえ、システムをご利用ください。

登録商標について

Microsoft、Windows、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標、または商標です。

Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated の商標です。

Apple、Apple ロゴ、Mac OS、iPhone、iPod touch、iPad、iOS、および iTunes は米国アップル社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

変更履歴

版数	変更年月日	変更内容
1.0	平成 22 年 10 月 12 日	・初版作成
1.1	平成 24 年 1 月 24 日	・コンポーネント名称を「スタンドアロン」から「セパレートオプション」に変更する。 ・インストール、バージョンアップ機能を追加する。
1.2	平成 24 年 7 月 5 日	・図や説明文、誤字脱字など全体的に修正する。

目次

1. セパレートオプション概要.....	5
1.1. セパレートオプション概要.....	5
1.2. セパレートオプション制限事項.....	5
1.3. セパレートオプションの仕組み.....	6
2. セパレートオプション機能.....	7
2.1. 画面説明.....	7
2.1.1. ダウンロードエリア.....	8
2.1.2. アップロードエリア.....	10
2.2. 操作説明.....	11
2.2.1. マスタ情報、記録データをダウンロードする.....	11
2.2.2. 入力した記録をアップロードする.....	13
2.2.3. ダウンロードした記録情報を削除する.....	14
2.3. セパレートオプション機能をバージョンアップする.....	15

1. セパレートオプション概要

1.1. セパレートオプション概要

訪問先など、記録システムデータベースとネットワーク接続できない環境において、記録システムを利用できるようにするための仕組みです。

施設内ネットワークに接続し使用している記録システムの環境をパソコンにダウンロード（受信）し、訪問先で記録を入力、施設に戻り記録をアップロード（送信）することで、施設内ネットワークから切り離された環境でも記録システムを使用する事ができます。

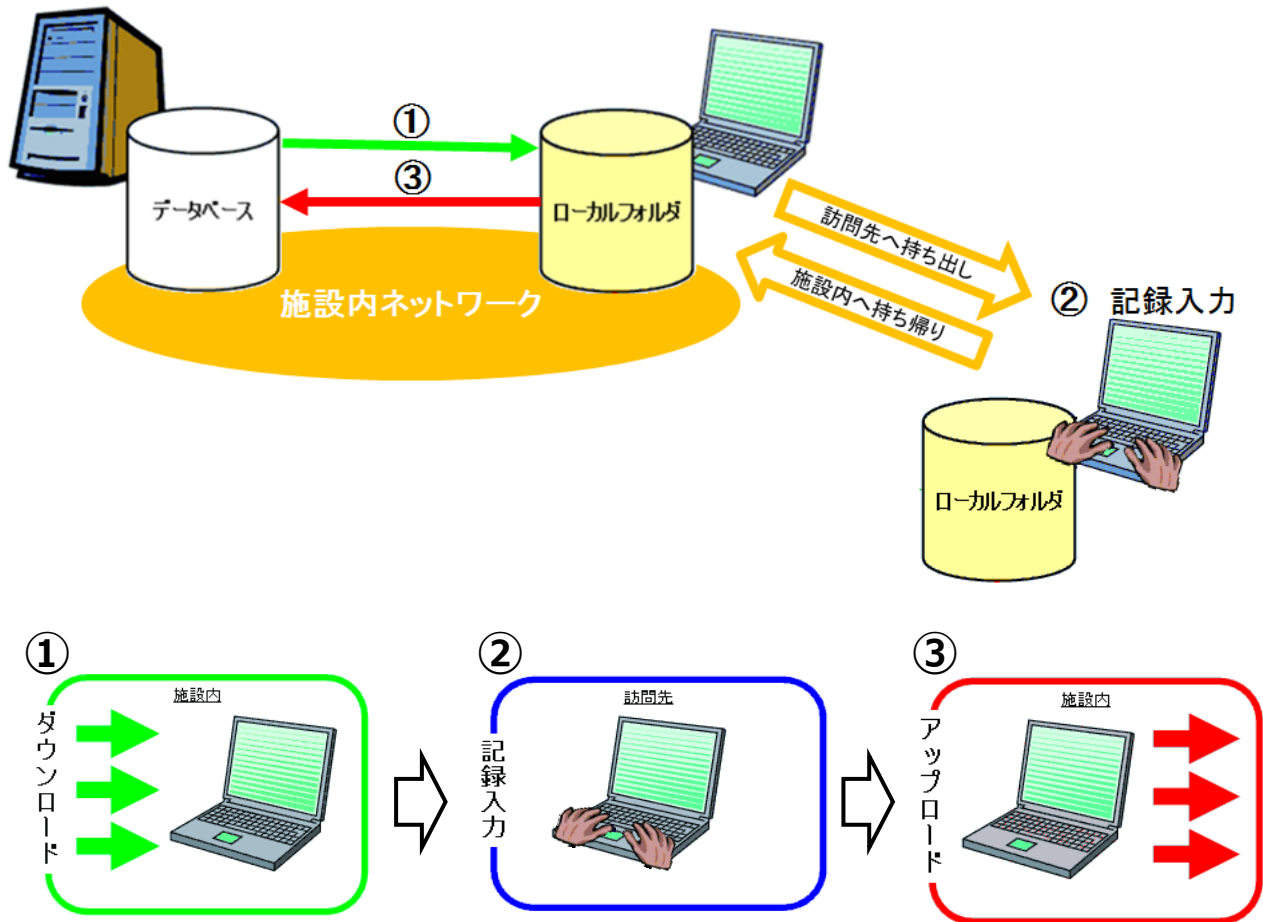
1.2. セパレートオプション制限事項

セパレートオプション機能では記録システムをネットワーク接続しない状態で運用できるように各種マスタ情報をダウンロードする機能と、セパレートオプション機能利用中に編集した記録をアップロードする機能があります。

アップロードできる情報は利用者様の記録情報だけとなりますので、施設ネットワークに接続したときに利用できるシステムの全機能を利用できるものではありません。

請求情報についてはダウンロード・アップロードの対象になりませんので、セパレートオプション機能で請求システムの運用は出来ません。

1.3. セパレートオプションの仕組み



① ダウンロード（受信）

セパレートオプション専用画面にてダウンロード（受信）の操作を行い、データベースからマスタ情報、記録情報をローカルフォルダ（自身のパソコン）に保存します。

※施設のネットワークに接続する必要があります。

② 記録の照会、入力

ローカルフォルダに保存された情報を元に記録の照会を行います。また新規作成・編集をした記録はローカルフォルダに一時的に保存されます。

記録の照会、入力は、施設ネットワークに接続して利用する記録システムの画面と同様の画面で行えます。

※施設のネットワークに接続する必要はありません。

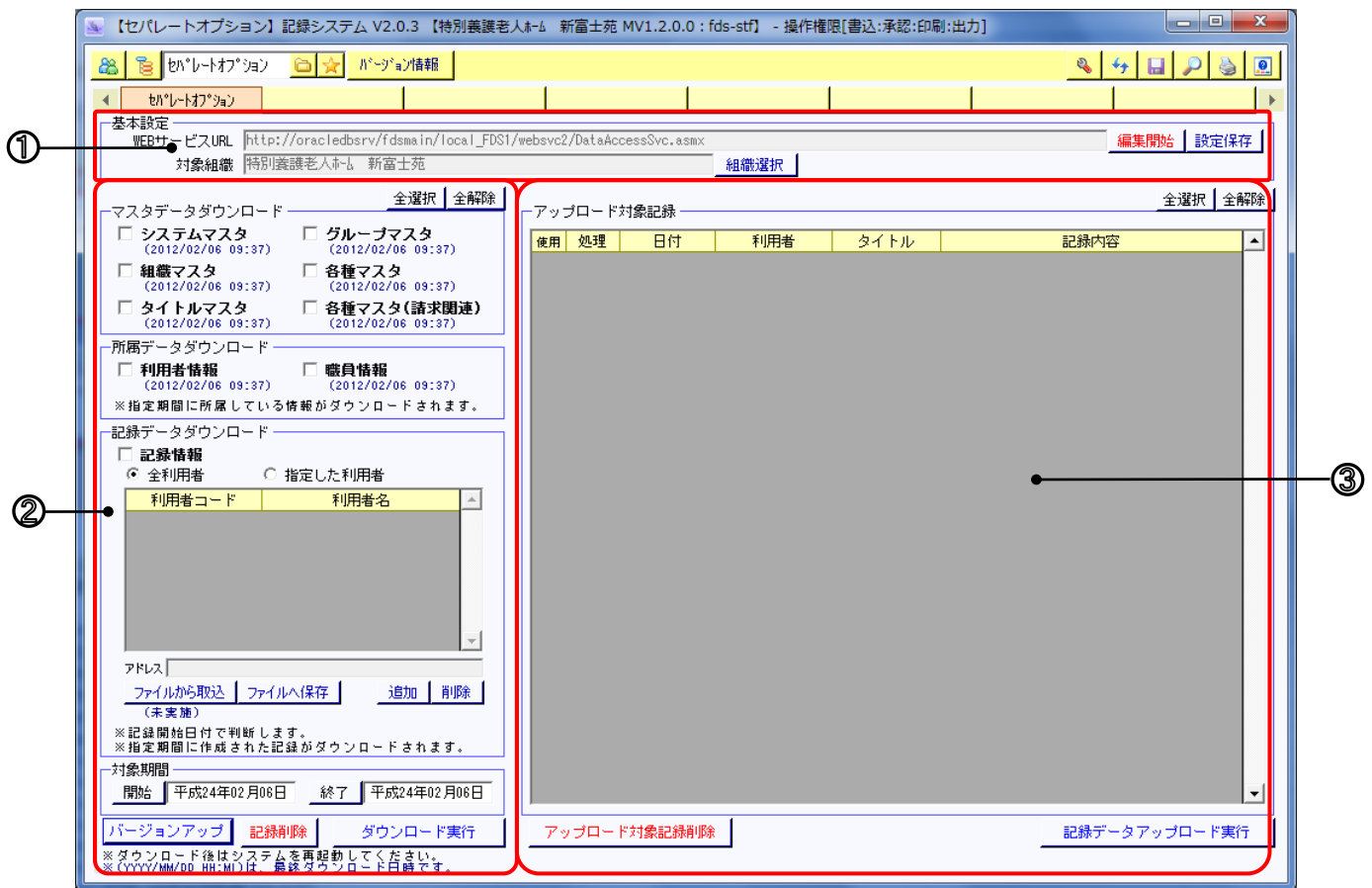
③ アップロード（送信）

セパレートオプション専用画面でアップロード（送信）の操作をすることにより、ローカルフォルダに保存されている記録をデータベースに保存します。

※施設のネットワークに接続する必要があります。

2. セパレートオプション機能

2.1. 画面説明

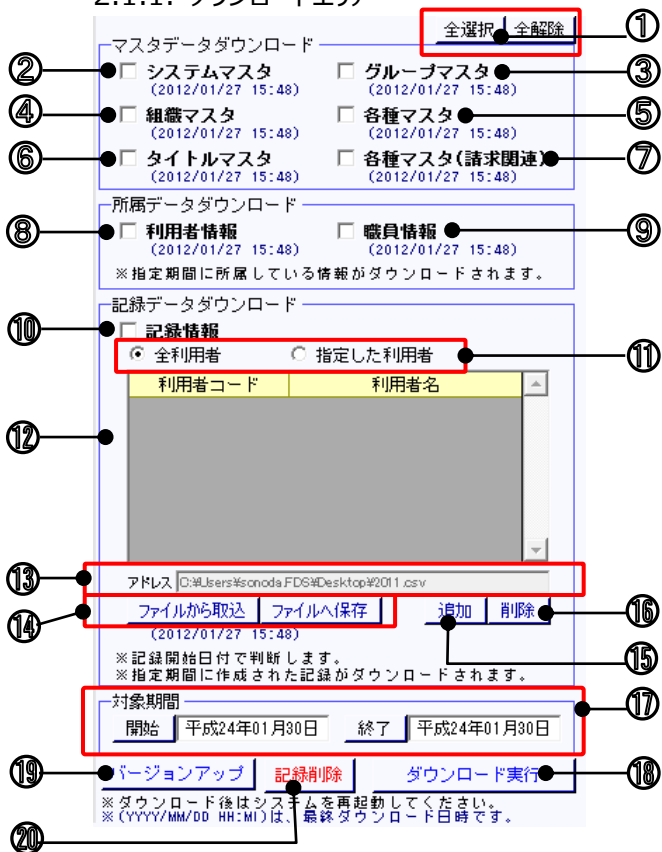


セパレートオプション画面とは

記録システムの環境・記録のダウンロード、入力した記録のアップロードが行えます。

区分	項番	項目	説明
テーブル入出力	①	基本設定エリア	接続先の URL、ダウンロード対象の組織を指定します。 システムセットアップ時に富士データシステムにて行います。通常はユーザー様で変更する必要はありません。
	②	ダウンロードエリア	ダウンロードする項目を選択します。 チェックをつけた項目のみダウンロードされます。
	③	アップロードエリア	アップロード対象の記録が一覧で表示されます。 チェックをつけた記録のみアップロードされます。 また、チェックをつけた記録のみ削除することも可能です。

2.1.1. ダウンロードエリア



区分	項番	項目	説明
ダウンロード	①	全選択/全解除	全てのダウンロード項目を選択、又は項目全ての選択を外します。
	②	システムマスタ	システム設定、環境設定ファイルをダウンロードします。
	③	グループマスタ	グループ区分マスタ、グループマスタをダウンロードします。
	④	組織マスタ	法人マスタ、事業所マスタ、ブロックマスタ、ユニットマスタ、部門マスタ、部屋マスタをダウンロードします。
	⑤	各種マスタ	都道府県市区町村マスタ、医療機関マスタ、ガイドラインマスタ、ガイドライン評価マスタ、職種マスタ、ロールマスタ、役職マスタ、ライセンスマスタをダウンロードします。
	⑥	タイトルマスタ	タイトル区分マスタ、タイトルマスタ、タイトルアイコンをダウンロードします。
	⑦	各種マスタ (請求関連)	事業所マスタ、ケアマネマスタ、サービス種別マスタをダウンロードします。
	⑧	利用者情報	利用者台帳、利用者所属、グループ所属、プロフィール情報、保険証情報、ケアマネ履歴、デフォルト記録をダウンロードします。
	⑨	職員情報	職員台帳、職員所属をダウンロードします。

区分	項番	項目	説明
	⑩	記録情報	入力されている記録データ（記録やスケジュール、帳票類）をダウンロードします。
	⑪	対象選択	記録情報をダウンロードする対象を選択します。 「全利用者」を選択すると、全利用者分の記録をダウンロードします。 「指定した利用者」を選択すると、対象者リストに表示されている利用者分のみ記録をダウンロードします。
	⑫	対象者リスト	対象選択で「指定した利用者」を選択した際のダウンロード対象者が表示されます。
	⑬	アドレス	記録読み込み対象者を保存または取り込むファイルを指定できます。 指定したファイルから、下記の「ファイルから取込/ファイルへ保存」が実行されます。
	⑭	ファイルから取込/ファイルへ保存	上記「アドレス」欄で指定したファイルから、対象者の読み込みを行います。また、対象者リストに表示されている対象者リストを、任意のファイルに保存することが可能です。
	⑮	追加	指定する利用者の追加を行います。
	⑯	削除	指定する利用者の削除を行います。
	⑰	対象期間	開始／終了ボタンからカレンダー画面を表示し、ダウンロード期間の開始日、終了日を選択、又は日付欄に直接入力します。
	⑱	ダウンロード実行	選択した項目をダウンロードします。
	⑲	インストール／バージョンアップ	セバレートオプションを使用するにあたり、必要なソフトウェア情報をパソコンにインストールします（初回のみ）。 <u>記録システムの導入時に富士データシステムにてインストール作業を行いますので、通常はユーザー様でインストールする必要はありません。</u> ※すでにインストール済みのパソコンでは、このボタンは「バージョンアップ」と表示されます。記録システムに新機能が追加された場合は、必要に応じてバージョンアップを実施してください。
	⑳	記録削除	対象期間を元にダウンロードした記録を削除します。

2.1.2. アップロードエリア



区分	項番	項目	説明
アップロード	①	全選択/全解除	全てのアップロード対象の記録をチェック、又は全てのチェックを外します。
	②	一覧リスト	アップロード対象の記録をリスト表示します。 ※ 新規作成した記録には「新規」、内容を変更した記録には「変更」、削除した記録には「削除」と処理列に表示します。
	③	アップロード対象記録削除	チェックした記録をアップロード対象から削除します。
	④	記録データアップロード実行	チェックした記録をデータベースにアップロードします。

2.2. 操作説明

2.2.1. マスタ情報、記録データをダウンロードする

<p>① 施設のネットワークに接続しているか確認します。</p> <p>② ダウンロードする項目にチェックをつけます。</p>	
<p>③ 記録をダウンロードしたい利用者を選択します。</p> <p>利用者全員分の記録をダウンロードする場合は「全利用者」を選択してください。</p> <p>個別に利用者を指定する場合は「指定した利用者」を選択します。</p>	
<p>(「指定した利用者」を選択した場合)</p> <p>「追加」ボタンを押下すると「対象者選択」画面が表示されますので、任意の利用者を選択し、「確定」にて追加してください。</p> <p>また、一度選択した利用者は「削除」ボタンにて削除する事ができます。</p> <p>※ 度々選択する利用者を「ファイルへ保存」しておくと、該当のファイルを「アドレス」欄に指定し、「ファイルから取込」にて読み込むことが可能です。</p>	

- ④ 記録をダウンロードする期間の、開始日と終了日を設定します。
「開始」「終了」ボタンをクリックするとカレンダーが表示されますので、日付を選択します。
- ※ 日付をダブルクリックしての直接入変更も可能です。
 - ※ 期間の指定は、主に記録と所属データをダウンロードする際にご活用いただけます。
 - ※ 例えば、開始を平成 24 年 1 月 27 日、終了を平成 24 年
 - ※ 1 月 31 日にした場合、記録（または所属）の開始日が 1 月 27 日から 1 月 31 日にかかる記録（または利用者）をダウンロードします。
- ⑤ 「ダウンロード実行」をクリックします。
- ⑥ ダウンロード実行後、システムを再起動します。
※ 記録情報のみダウンロードした場合は、システムの再起動をする必要はありません。

対象期間
開始 平成24年01月27日 終了 平成24年01月31日

バージョンアップ 記録削除 ダウンロード実行

カレンダー

和暦 平成 24年01月27日
西暦 2022年01月27日

平成 24年 1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

本日 確定 閉じる

対象期間
開始 平成24年01月27日 終了 平成24年01月31日

バージョンアップ 記録削除 ダウンロード実行

2.2.2. 入力した記録をアップロードする

<p>① 施設のネットワークに接続しているか確認します。</p> <p>② アップロード対象の記録を確認し、アップロードしない記録に対してはチェックを外します。</p>	
<p>③ 「記録データアップロード実行」をクリックします。</p>	
<p>④ 不要な記録が残っている場合は「アップロード対象削除」をクリックし削除します。</p>	

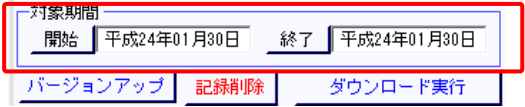
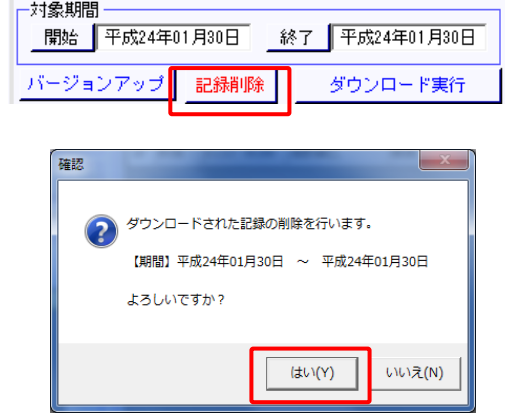
注意！

記録システムにて既に作成されていた記録をセパレートオプションツール側にダウンロードし、記録一覧などで記録を削除した場合、アップロード時に下図の様に「記録を削除した」と言う情報が送信され、データベース上からも削除されてしまいますのでご注意ください。

使用	処理	日付	利用者	タイトル	記録内容
<input checked="" type="checkbox"/>	削除	10/14 08:00	菜ひろし	通所介護	【送迎】迎、送 【ごはん】並 【おかず】並 【迎車】1号車 【送車】1号車 【食事】厚食 【入浴方法】一般浴 入浴介助 □腔機能向上サービス 中山間地域等提供

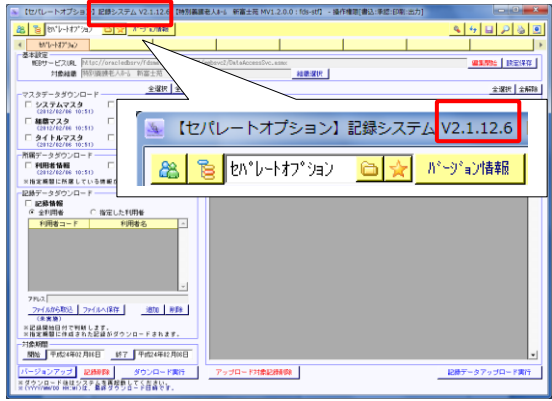
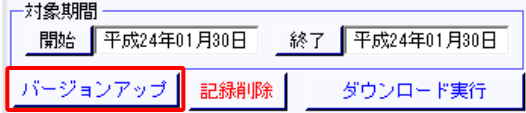
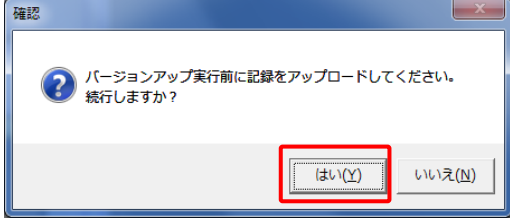
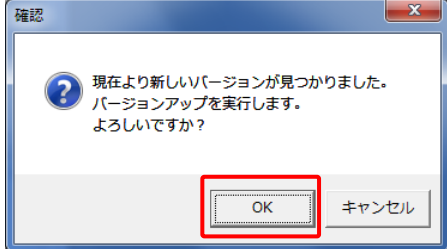
尚、ツール上に表示したくない記録が存在する場合は、「2.2.3. ダウンロードした記録情報を削除する」をご参照ください。

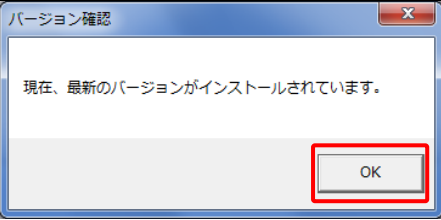
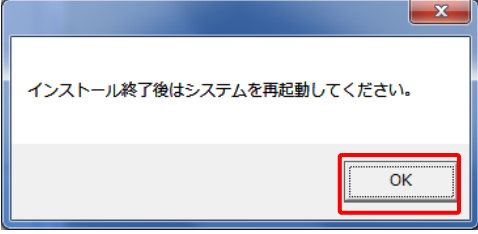
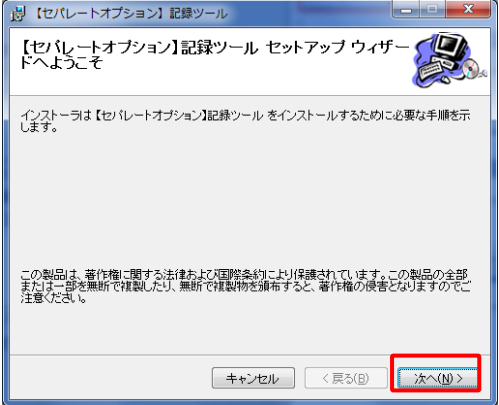
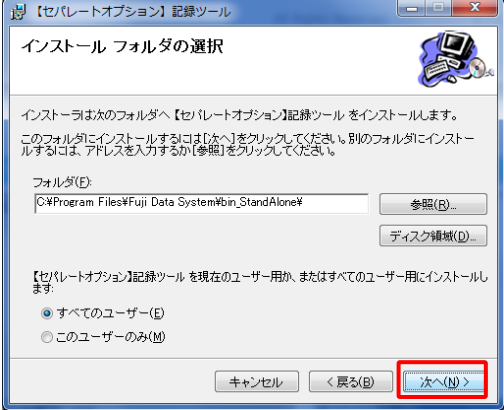
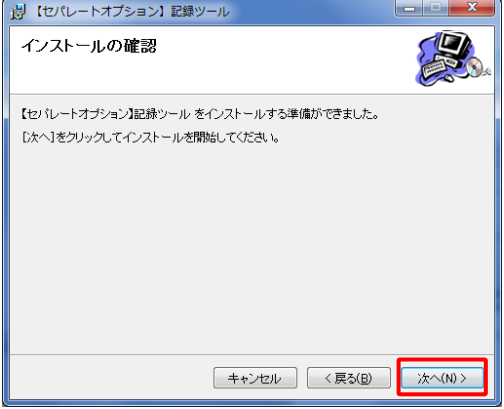
2.2.3. ダウンロードした記録情報を削除する

<p>① 削除する期間を指定します。</p>	
<p>② 「記録削除」を押下すると、確認のメッセージが表示されます。</p> <p>※ 削除しても良ければ「はい」を押下します。 端末に保存されている記録が削除されます。 <u>データベースに保存されている記録は削除されません。</u></p>	

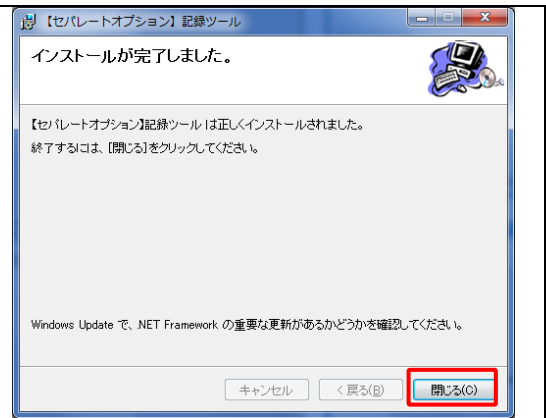
2.3. セパレートオプション機能をバージョンアップする

※バージョンアップは富士データシステムより機能追加・修正のお知らせ等があった場合に実施してください。

<p>(事前作業：バージョン情報の確認)</p> <p>現在お使いのソフトウェアバージョンを確認する場合は、セパレートオプション画面のヘッダーをご確認ください。</p> <p>バージョンアップを実施する場合、あらかじめ現在のバージョン番号を控えておくと、実施後に確認する際に便利です。</p>	
<p>① 施設のネットワークに接続しているか確認します。</p>	
<p>② 「バージョンアップ」ボタンを押下します。</p>	
<p>③ 記録データアップロード確認メッセージが表示されますので、アップロードする記録が無い場合は、「はい」ボタンを押下して次に進んでください。</p> <p>アップロードを実施していない記録がある場合は、一旦「いいえ」ボタンを押下してバージョンアップを中止し、記録のアップロードを実施してください。</p> <p>(→「2.2.2. 入力した記録をアップロードする」参照)</p> <p>※ 大幅な仕様変更などのバージョンアップ時には、過去のバージョンでとられた記録を新しいバージョンでアップロードできない可能性があります。バージョンアップ前には、必要な記録は必ずアップロードを行ってください。</p>	
<p>④ 現在お使いのソフトウェアより新しいバージョンのプログラムが存在する場合、バージョンアップ確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンを押下します。</p> <p>※ 現在お使いのソフトウェアが最新の場合は、「現在、最新のバージョンがインストールされています。」とメッセージが出力されます。</p> <p>バージョンアップ作業は不要ですので、「OK」ボタンにてバージョンアップを終了してください。</p>	

	 <p>バージョン確認</p> <p>現在、最新のバージョンがインストールされています。</p> <p>OK</p>
<p>⑤ 左記のようなメッセージが出力されますので、「OK」ボタンを押下してください。</p>	 <p>インストール終了後はシステムを再起動してください。</p> <p>OK</p>
<p>⑥ バージョンアップのセットアップウィザードが表示されますので、「次へ」ボタンを押下します。</p>	 <p>【セバレートオプション】記録ツール セットアップ ウィザードへようこそ</p> <p>インストーラは【セバレートオプション】記録ツール をインストールするために必要な手順を示します。</p> <p>この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この製品の全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害となりますのでご注意ください。</p> <p>キャンセル <戻る(B) 次へ(N) ></p>
<p>⑦ フォルダの設定等は変更せず、そのまま「次へ」ボタンを押下します。</p>	 <p>【セバレートオプション】記録ツール インストール フォルダの選択</p> <p>インストーラは次のフォルダへ【セバレートオプション】記録ツール をインストールします。</p> <p>このフォルダにインストールする場合は「次へ」をクリックしてください。別のフォルダにインストールする場合は、アドレスを入力するか【参照】をクリックしてください。</p> <p>フォルダ(E): <input type="text" value="C:\Program Files\Fujii Data System\bin_StandAlone\"/> 参照(B)... ディスク領域(D)...</p> <p>【セバレートオプション】記録ツール を現在のユーザー-用か、またはすべてのユーザー-用にインストールします。</p> <p><input checked="" type="radio"/> すべてのユーザー(E) <input type="radio"/> このユーザーのみ(M)</p> <p>キャンセル <戻る(B) 次へ(N) ></p>
<p>⑧ 確認画面が表示されるので、「次へ」ボタンを押下します。</p>	 <p>【セバレートオプション】記録ツール インストールの確認</p> <p>【セバレートオプション】記録ツール をインストールする準備ができました。</p> <p>【次へ】をクリックしてインストールを開始してください。</p> <p>キャンセル <戻る(B) 次へ(N) ></p>

- ⑨ インストール完了メッセージが表示されたら、バージョンアップは終了です。
ショートカットアイコンから、記録ツールの再起動を実施してください。



(事後作業：バージョンアップの確認)

再起動後、事前作業と同様に、セパレートオプション画面のヘッダーにてバージョン番号を確認してください。

バージョンアップ前の番号より上の番号になっていれば、正常にバージョンアップできています。

